

ほうでえ～

ありゃ～のう

# 周防大島町の話題



いわくに竹楽房の伴奏で  
三浦小学校児童が合唱



ドングリの植え付け

周防大島の入口にある西三浦鳴門の竹やぶを伐採し、桜並木とクヌギの森として再生する取り組みが3年目を迎え、3月11日、第2回植樹祭が開催されました。この森は美しい三浦を創る会のボランティアにより整備されているもので、昨年植えた苗木も順調に育ち、海を望む美しい景観を取り戻しています。植樹祭では、いわくに竹楽房の竹楽器演奏や三浦小学校児童の歌が花を添え、地域の憩いの森となるよう参加者一人ひとりがクヌギの種であるドングリを植えました。

竹やぶから桜並木とクヌギの森へ

## 未来の「リーガー」めざして



決勝戦は30日、周防大島町陸上競技場で行われ、雨の中熱戦の末、コスモ東広島FCが優勝しました。

第12回サザン・セト大島少年サッカー大会が3月28日から30日まで開催され、各地から集まった48チームが3日間におたつて戦いました。

周防大島の竹を使って竹とんぼを作り、飛距離や滞空時間を競う竹とんぼ競技大会が3月24日、大島グランドで開催されました。大島老人クラブ連合会の主催で今回が3回目。工夫を重ねた自慢の竹とんぼを持ち寄り、高く飛ばしたり遠くへ飛ばしたりと力かげんを調整。飛ばした竹とんぼを拾いに歩くことが運動になり、体にもよいと愛好者が増えています。

竹とんぼ 空高く

